

# 2019年度事業報告書

特定非営利活動法人DxP

## I 事業期間

2019年4月1日～2020年3月31日

## II 事業の成果

設立8期目は事業全体で1,108名の高校生・若者をサポートし、高校生と関わった回数は4,874回となった。

事業(1)では、起業当初より取り組んでいる通信・定時制高校における「人とのつながりをつくる」プログラム・クレッシェンドを実施。通信制高校3校、定時制高校11校へクレッシェンドを導入。プログラムを受けた高校生の人数は806名となった。また、学校や地域のなかに居心地のよい場所をつくる居場所プログラム「いごこちかふえ」を大阪府・京都府・兵庫県の定時制高校と提携して計7校で実施し、431名が参加。クレッシェンド、いごこちかふえと2つのサービス導入する定時制高校は6校となり、より高校生が相談しやすい環境をつくった。

事業(2)に関しては、大阪・東京を中心として日本各地で講演を実施。講演を通じて多くの方に若者の置かれている状況についてお伝えすることができた。また、プログラムに関わるボランティアの方々は広い地域からご参画頂いた。

事業(3)(4)に関しては、高校生が卒業後も働いていくための相談事業を実施。LINE公式アカウント(旧LINE@)を使って進路相談に応じ、293件の高校生の進路相談を受けた。学生限定SNSサービス「ひま部」と連携し、アプリケーション内でも相談対応を行なった。ひま部が閉鎖し、当団体のLINE相談アカウントの登録者数は、692名となった。30名の高校生がインターンなどの職業体験に参加した。事業(5)(6)では、箕面に続き、十三でもシェアハウス事業を開始。事務所内で、高校生や卒業生とボランティアが交流を行う企画を実施した。事業(7)は2019年度においては実施していない。

## III 事業の実施状況

### 1 特定非営利活動に係る事業

(1) (事業名) 若者が教育機関を卒業後に社会的弱者になることを予防する為の  
キャリア教育支援事業

(内 容) 高校生が社会人ボランティアとの関わりを通して人とのつながりをつくる  
授業プログラムを実施します。

(実施場所) 通信制/定時制高校

(実施日時) 1校につきおよそ2-3ヶ月で4回の授業を実施

(事業の対象者) 通信制高校/定時制高校に通う高校生

(収 入) 2,512,120円

(支 出) 24,949,946円

(2) (事業名) 若者を取り巻く問題の現状理解を目的とした講演活動及びイベント事業

(内 容) 若者を取り巻く問題を一般の方に知ってもらうための講演活動及び  
イベント事業

(実施場所) 当団体事務所/イベントスペース/教育機関・企業など

(実施日時) 月2回程度

(事業の対象者) 一般市民

(収 入) 2,295,026円

(支 出) 2,257,594円

(3) (事業名) 若者が教育機関を卒業後に就労を通じた社会的自立を図る為の就労支援事業

(内 容) 若者が学校を卒業したあとに働いて生きてゆくために、進路相談に応じ、  
仕事やネクストアクションにつなげていく取り組みです。

(実施場所) 教育機関/当団体事務所

(実施日時) 週1回程度

(事業の対象者) 通信・定時制高校に通う生徒および10代後半の若者

(収 入) 836,710円

(支 出) 2,931,543円

(4) (事業名) 若者が社会的自立を行うための能力開発・職業体験事業

(内 容) 若者が学校を卒業したあとに働いて生きてゆくために、さまざまなチャレン

シ機会、職業体験の機会を得て、経験しながら学べる機会をつくる事業です。  
(実施場所) 教育機関/当団体事務所  
(実施日時) 月2-3回  
(事業の対象者) 通信・定時制高校に通う生徒、および10代後半の若者  
(収入) 0円  
(支出) 10,659,617円

- (5) (事業名) 若者の生活支援の為のシェアハウスやその他スペースの運営に関する事業  
(内容) 若者が暮らすことができるシェアハウスやその他スペースをつくる事業です。  
(実施場所) 箕面/十三のシェアハウス  
(実施日時) 随時  
(事業の対象者) 29歳以下の若者  
(収入) 429,897円  
(支出) 2,275,878円
- (6) (事業名) 若者のビジネス支援の為の coworkingスペース等の機会提供サービス業  
(内容) 不登校・中退状態の15-19歳が「通える場所」となれるよう、coworkingスペースを運営したり様々な機会を提供する事業です。  
(実施場所) 当団体事務所  
(実施日時) 随時  
(事業の対象者) 通信・定時制高校に通う生徒、および10代後半の若者  
(収入) 0円  
(支出) 136,908円
- (7) (事業名) 若者のビジネス支援の為の物品・サービス等の販売業  
(内容) 若者が自らなにかサービス・商品をつくり、販売する事業。  
(実施場所) 今年度は実施なし  
(実施日時) 今年度は実施なし  
(事業の対象者) 通信・定時制高校に通う生徒、および10代後半の若者  
(収入) 0千円  
(支出) 0千円

#### IV 社員総会の開催状況

##### 通常社員総会

(日時) 2019年5月20日 午前13時00分から午前14時00分  
(場所) NPO法人DxP 事務所内  
(内容) 事業報告並びに活動決算、事業計画並びに活動予算について

#### V 理事会その他の役員会の開催状況

##### 理事会

(日時) 2019年5月18日 午後7時から午後9時半  
(場所) NPO法人DxP 事務所内  
(内容) 通常社員総会開催の件、事業報告並びに活動決算、事業計画並びに活動予算の承認

# 2019年度 活動計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

認定特定非営利活動法人DxP

(単位：円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	55,000	
賛助会員受取会費	0	55,000
2. 受取寄附金		
受取寄附金	41,396,172	41,396,172
3. 受取助成金等		
受取助成金	4,769,670	4,769,670
4. 事業収益		
教育支援事業収益	4,204,553	
講演活動事業収益	2,295,026	6,499,579
5. その他収益		
受取利息、他	4,144	4,144
経常収益計		52,724,565
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	27,794,453	
法定福利費	4,045,829	
	31,840,282	
(2) その他経費		
旅費交通費	8,563,833	
賃借料	1,677,242	
通信費	582,944	
消耗品・備品費	938,489	
雑費他	7,951,660	
事業費計	19,714,168	51,554,450
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	8,637,620	
法定福利費	1,124,176	
	9,761,796	
(2) その他経費		
旅費交通費	719,008	
消耗品・備品費	527,206	
賃借料	700,028	
通信費	208,474	
雑費他	5,732,887	
管理費計	7,887,603	17,649,399
経常費用計		69,203,849
当期経常増減額		-16,479,284
III 経常外収益		
-		0
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
-		0
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		-16,479,284
法人税、住民税及び事業税		70,836
当期正味財産増減額		-16,550,120
前期繰越正味財産額		14,782,890
指定正味財産増減額		-133,754
一般正味財産増減額		0
次期繰越正味財産額		-1,900,984

※ 今年度はその他の事業を実施していません。

# 2019年度 貸借対照表

2020年3月31日現在

認定特定非営利活動法人DxP  
(単位：円)

科目	金額	
<b>I 資産の部</b>		
1. 流動資産		
現金預金	9,072,519	
売掛金	1,567,000	
未収入金	3,137,543	
仮払金他	0	
流動資産合計		13,777,062
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
附属設備	457,105	
有形固定資産計	457,105	
(2) 無形固定資産		
-	0	
無形固定資産計	0	
(3) 投資その他の資産		
差入保証金	330,000	
特定資産	1,591,704	
投資その他の資産計	1,921,704	
固定資産合計		2,378,809
資産合計		16,155,871
<b>II 負債の部</b>		
1. 流動負債		
未払金	3,142,522	
未払法人税	70,000	
預り金	757,333	
前受金	5,610,000	
短期借入金	0	
流動負債合計		9,579,855
2. 固定負債		
長期借入金	8,477,000	
固定負債合計		8,477,000
負債合計		18,056,855
<b>III 正味財産の部</b>		
前期繰越正味財産		14,782,890
指定正味財産増減額		-133,754
一般正味財産増減額		0
当期正味財産増減額		-16,550,120
正味財産合計		-1,900,984
負債及び正味財産合計		16,155,871

令和1年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

特定非営利活動法人 DxP

令和2年 3月 31日現在

科 目	金額 (単位:円)	
<b>I 資産の部</b>		
<b>1 流動資産</b>		
手元銀行	413,270	
普通預金 (三菱UFJ銀行 大阪京橋支店)	4,836,068	
普通預金 (楽天銀行 第二営業支店)	3,053,302	
普通預金 (大阪商工信用金庫 本店営業部)	228,191	
当座預金 (ゆうちょ銀行)	260,192	
普通預金 (楽天第一支店)	175,631	
普通預金 (りそな銀行 大手支店)	25	
普通預金 (近畿労働金庫 大阪中央支店)	5,840	
定期預金 (近畿労働金庫 大阪中央支店)	100,000	
売掛金 (教育・講演事業等)	1,567,000	
未収入金 (受取寄付金他)	3,137,543	
保証金	0	
流動資産合計		13,777,062
<b>2 固定資産</b>		
付属設備	457,105	
差入保証金	330,000	
特定資産 (楽天銀行)	1,591,704	
固定資産合計		2,378,809
資産合計 (A)		16,155,871
<b>II 負債の部</b>		
<b>1 流動負債</b>		
未払金 (人件費他)	3,142,522	
未払法人税等	70,000	
預り金 (社会保険料、源泉所得税)	757,333	
前受金	5,610,000	
短期借入金	0	
流動負債合計		9,579,855
<b>2 固定負債</b>		
長期借入金	8,477,000	
固定負債合計		8,477,000
負債合計 (B)		18,056,855
正味財産 (A) - (B)		-1,900,984

## 財務諸表の注記

### 1 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日、2017年12月12日最終改正NPO法人会計基準協議会）によっています。

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。

#### 事業費と管理費の按分方法

事業費と管理費に共通する経費のうち、給料手当及び法定福利費、旅費交通費

減価償却費等については従事割合に基づき按分しています。

#### ) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

### 2 用途等が制約された寄付等の内訳

用途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。

内容	(円)			
	19年度 期首残高	当期増加額	当期減少額	19年度 残高期末
ピースボード（ワールドチャレンジ）	1,605,357	0	-13,653	1,591,704
居場所事業	6,000,000	6,000,000	-12,000,000	0
テック募金	120,101		-120,101	0
	7,725,458			1,591,704

### 3 固定資産の増減内訳

内容	(円)					
	期首取得価額	取得	減少	取得期末価額	減価償却累計額	帳簿期末価額
有形固定資産				0		0
付属設備	510,359	0	0	510,359	-53,254	457,105
投資その他の資産				0		0
差入保証金	330,000	0	0	330,000	0	330,000
特定資産	7,591,704	6,000,000	-12,000,000	1,591,704	0	1,591,704
	8,432,063	6,000,000	-12,000,000	2,432,063	-53,254	2,378,809

### 4 借入金の増減内訳

内容	(円)			
	19年度 期首残高	当期借入	当期返済	19年度 残高期末
長期借入金	0	10,000,000	-1,523,000	8,477,000